

デーリー東北

2026年(令和8年)5月27日(水曜日) (2)

土木体験ミュージアム完成

八工大、技術者育成などに活用



完成した「HITインフラミュージアム」26日、八工大

地域のインフラを支える土木技術者の育成を目指し、八戸工業大が学内に整備を進めていた体験施設「HITインフラミュージアム」が完成した。橋や工法のモデルなどを設置し、大学生への授業や現役技術者の技術向上、学び直しでの活用だけでなく、子どもたちの土木建設業への興味関心を高める場とした。26日、同大で開かれた完成記者発表会で、船崎健一学長は「道路や橋などのインフラは、今後関心が集まってくる分野。インフラ維持の重要性を知ってもらう場になれば」と期待を込めた。

体験施設の整備は、同大が展開する産学官民連携事業「アーチプロジェクト」の一環。2024年度には、構内に実在する橋を再現した「橋梁メンテナンス施設」の運用を開始し、大学生の授業や実験、中高生の見

インフラ維持 重要性知る場に

学会、県内外の建設系技術者に対する研修会などにも活用されている。

ミュージアムは、橋梁メンテナンス施設を拡充。橋のモデルに加え、強度と耐久性を高めたプレストコンクリート桁、橋脚の耐震補強工法モデルなど新たな展示を加えた。25年12月に完成し、本年度から運用を開始している。

整備事業は青森県県土整備部との「建設系人材支援に関するパートナーシップ協定」に基づき実施。県が解体、撤去した梅田橋(五所川原市)の一部を移設し、老朽化した橋のモデルとして展示している。

発表会後は施設が披露され、関係者や同大建築土木工学コースの学生が、同大の藤田弘昭客員教授の説明を受けながら、内部を見学した。

施設の見学、利用に関する相談は、同大総務部学事チームへ。電話0178(25)811111(向屋敷萌)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。